

コミュニティバスの台数増を

町長

台数を含め今後の検討課題



永友正章 議員

〔問〕高齢者の自動車運転免許証の自主返納により交通弱者の増加が予想されるが、今後コミュニティバスの台数を増やす考えはあるのか伺います。



交通弱者の足となるべきコミュニティバス

〔答〕高齢化に伴う交通弱者の増加という事を、しっかりと考えるべきだと思っている。今は、

〔問〕高年齢者の自動車運転免許証の自主返納により交通弱者の増加が予想されるが、今後コミュニティバスの台数を増やす考えはあるのか伺います。

〔答〕監視カメラを使った防犯対策、ＩＣカードやタブレット端末を利用した児童の見守り、高齢者の遠隔健康相談など様々な分野において

る利活用の調査・研究を進めています。

〔問〕日之出地区の津波対策について伺います。

〔答〕日之出地区の津波対策については、宮崎県が海岸線に堤防をつくる計画があるが、時期等は示されていない。

〔問〕町職員の地区加入率と、地区加入への対応について伺います。

〔答〕町職員の地区への加入率は62・3％で、

地区外居住者で地区活動に参加している人を含めると86・8％になる。平成26年に、新富町職員の地区加入についての基本方針を策定し、課長会で全職員に対して協力依頼をした。町外居住職員に対しては、ヒアリングを実施し町内居住への理解、また協力依頼をしている。

一ツ瀬川の自然資源破壊の原因は

町長

ヘドロの調査を要望



丹 邦敏 議員

〔問〕町民の健康づくりの取り組みは。

〔答〕健康日本21を基本に本町も、平成24年から33年度まで10年間の健康増進計画を策定し、

目標達成に向け努力しているところです。

〔問〕慢性腎臓病重症化予防において、本町の腎透析者数は。

〔答〕本町で76名、県内では後期高齢医療加入者が3番目、国保加入者が4番目の、高い位置にある。

〔問〕本町透析者が多い



満水状態の一ツ瀬ダム

問題について、検討されたことは。又、難聴調査については、区長との意見交換会で要望されたもので、町民に安心を提供していただくよう、強く要望する。

〔答〕町も透析者が多い状況は把握しており、重症化予防の取り組みとして、糖尿病、透析、循環器疾患の予防を重点に取り組んでいる。

〔問〕一ツ瀬川清流化問題の答弁について、平成27年10月、九州電力

は一ツ瀬ダムにはヘドロは存在しないといわれている。検討委員会、協議会においても、ヘドロの問題には触れていない。解決のためには、九州電力が認識することが、必要と思うが考えを伺います。

〔答〕現在は、丹議員と同じ認識であり、協議会会長とも認識を共有し、ヘドロの調査も要望しているところである。

上新田小学校跡地をどうする

町長

地域が活性化出来ることに使いたい



議員 孝一 師圖

〔問〕 上新田小学校跡地はどうするのか。

〔答〕 上新田の皆さんがいろいろ使え、交流し人が増え、上新田地域が活性化できることに使いたい。

〔問〕 いつ頃までに結論をだすのか。



期待に地域の活性化で跡地活用
上新田小学校

〔答〕 交通量・地盤の強さを調査し、その結果

〔問〕 上新田地区の町道はヒビが入り亀の甲羅みたいになっている。さらに大型飼料運搬車等の通行により道路の破損が拡大している。基地周辺道路と規格が違うのでは。

〔答〕 更地にした後を想定して、その期間でしっかりと皆さんと議論したい。

〔問〕 うぐいす台団地内の道路が一部私道になっており、住民が将来に不安を抱いている。行政は相談を受けたのか。

〔答〕 相談を受けて、町道編入や寄附の方法を伝えている。編入の基準を設けており、これを基本にいろいろな事に対応していく。

〔問〕 中学生の海外派遣

〔答〕 私の第一方針は人づくり。交流方法、経費も含めて教育委員会と一緒に取組みを進める。

空室目立つ自衛隊官舎

町長

空室解消を基地に要望



議員 市憲 田吉

〔問〕 上新田中学校周辺の通学路整備について。

〔答〕 町道吐合々前原線の整備については、関

〔問〕 通学路の整備について。

〔答〕 通学路は、各学校が児童生徒の安全確保や教育的環境維持のために、指定した道路で改善の必要があれば、

〔問〕 通学路の整備について。

〔答〕 通学路は、各学校が児童生徒の安全確保や教育的環境維持のために、指定した道路で改善の必要があれば、

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。

〔問〕 自衛隊官舎の入室状況について。

〔答〕 学校と協議し対応します。



要望が出された等閑の伐採
通学路

台風被害対応は

町長

堤防かさ上げ等改修工事を要望



永友繁喜 議員

〔問〕 台風16号による、町内の被害状況を伺います。

〔答〕 被害額は、農業用ハウスの施設被害が1980万円、農作物の被害額は651万円です。農業ハウスについては、竜巻とみられる突風により被覆資材と本体の被害。農作物の



台風16号で冠水被害を受けたハウス農家

被害は、冠水による、ハウス作物及び大根、そば等の生育被害が主なものです。

〔問〕 台風被害に対して、町はどのような対策を取ったのか伺います。

〔答〕 町の対策は、冠水被害では河川水位の上昇により、水田のハウス内部に冠水があったので、高鍋土木事務所へ堤防のかさ上げ等の改修工事の要望を行い、九州電力にはダムの放流方法についての改善

要望を行いました。また、河川の樋門を管理

する消防団との連携確認も行いました。本体

被害については、国の補助事業である経営体

育成支援事業の申請をするともに、町の補助金を充当しました。

〔問〕 農業関連災害の被害額について、補助率が定まっていない。災害事業費に対して、一定の補助率を決めるこ

とはできないのか。

〔答〕 なかなか難しい。

〔問〕 企業誘致をするために、町に工業団地をつくる考えはないか伺います。

〔答〕 工業団地については、農地等も含めた今後の有効な土地利用を推進することを念頭に置き、社会情勢や企業

ニーズの動向を見極め研究していきたいと考えています。

町づくりにスマートインター必要

町長

道路インフラ重要 引き続き努力



三浦千尋 議員

〔問〕 スマートインターチェンジ整備への進捗は。

〔答〕 施設の充実を人と呼ぶ。道路インフラは重要と認識し引き続き努力する。

〔問〕 コンター見直しの検討したのか。

〔答〕 現在の、町外企業からの寄付の見直しは、引き続き県を通じて情報収集に努める。

〔問〕 まちづくりと町内活性化の為に必要だが。

〔問〕 最近のコンター見直しは全て滑走路の両側面が縮小。この結果から推測した対応策は検討したのか。

〔答〕 現在、町外企業からの寄付の見直しは、引き続き県を通じて情報収集に努める。

〔問〕 国は、縮小を飛行回数の3〜4割減を最大の理由としているが、町独自の目視調査回数も減少したのか。

〔問〕 外国人観光客の流入が急増中。多言語化のパンフレット等が必要だが対応は。

〔問〕 国は、縮小を飛行回数の3〜4割減を最大の理由としているが、町独自の目視調査回数も減少したのか。

〔問〕 現在、町外企業からの寄付の見直しは、引き続き県を通じて情報収集に努める。



整備へ期待 スマートインターチェンジ

基地騒音コンタ―見直しは

町長

航空機騒音は我慢の限界



高野賢治 議員

〔問〕 新田原基地騒音コンタ―見直しについて、その影響は。

〔答〕 国の説明内容は第一種区域が大幅に縮小することになり、住宅防音工事対象住宅など町民に大きな影響が出ることになります。第一種区域の大幅縮小に



騒音に配慮が求められる戦闘機

〔問〕 国の説明内容は第一種区域が大幅に縮小することになり、住宅防音工事対象住宅など町民に大きな影響が出ることになります。第一種区域の大幅縮小に

〔答〕 津波避難施設として横江地区が完了し、

五反田地区に施設を建設中です。

〔問〕 避難路に架かる鬼付女川・横江川・江子川等関連橋梁の耐震強度と落橋防止の有無は。

〔答〕 関連橋梁が4橋（新小牟田橋、王子橋、横江橋、江子橋）あり、架設当時の道路橋の仕方書により架設されていれば十分耐えられると思っている。

〔問〕 まちづくり事業の概要は。

〔答〕 新田原基地を始め町にある様々な資源を効果的に連携させ、交流人口の増加を図り、町内各地域への集客を展開し、「交流」と「地域活性化」に結びつけた「まちづくり」の実現を目指すものです。

若い世代からお年寄りまで、様々な目的の方がご来場いただけるような施設構成としております。

まちづくり事業・町民の懸念に答えて

町長

町の活性化や経済効果に期待



櫻井盛生 議員

〔問〕 町のまちづくり事業に不安を持つ町民もいる。事業の内容や予算規模・維持管理費等について伺います。

〔答〕 総額約65億円の予算規模で、温泉施設・宿泊施設・航空資料館・町産品加工販売所・緑地広場・レストラン・フットボールセンター等を一ヶ所にまとめて造る考えであります。町の負担額はその内約15億円です。維持



整備が待たれる日向新富駅

管理費は2億6千万円かかりますが、民間の事業者を参加させることで大幅な圧縮が可能と考えています。費用対効果については、投資額の数倍の経済効果が得られるとの数値が示されておりあります。

実施設計まで期間もあるのですが町民の声を頂きながら事業を進めてまいりたい。

〔問〕 観音山を観光資源として活かすべきであります。素晴らしい景観や八十八カ所の観音を短時間で見学できるように図示する等、整備することが必要ではないか。併せて駐車場

〔答〕 日向新富駅は新富町の玄関口でもあります。新富町の良さを感知られるよう整備が必要です。JR九州と協議を進めてほしい。

〔答〕 バリヤフリー化など、今後も継続して要望していきたい。

行政調査

基地対策特別委員会

騒音区域等 縮小(案)に 断固反対

九州防衛局から町長、議長に対する説明を受けて、早々に委員会を開催した。12月4日前防衛政務官の宇都隆参議院議員と面談した。そして、12月8日には九州防衛局に向き、全議員が住民の思いを発言し、騒音区域縮小(案)は受け入れられないと強く申し入

れをした。

国の有識者による懇談会提言「限られた財源を効果的に支出する為、区域の見直しを図るべき」を受けてのことと思われるが、これまでの町民の苦しい生活環境はいかほど加味された評価であったのか、正に耳を疑うばかりでありました。本委員会は引き続き緊張感をもって、関係部局へ町民の思いを訴えていきます。



宇都参議院議員と対応を協議

基地対策特別委員会 行政調査報告

平成28年10月24、25日に三菱重工業株式会
社・川崎重工業株式会
社と小牧・岐阜基地を
訪問した。

概要及び所見

大企業である2社を訪問し、本町への企業誘致の可能性を探りました。

自動車約3万点、飛行機は約100万点の部品からできており、

多くの中小企業が関わっていることを実感した。

企業進出にあたり様々な課題はあるが、関連企業立地に向け第一歩を記すことが、将来の定住増対策に資するものと思料する。

今後とも、他の大企業への訪問努力継続が求められることを共有できた。



川崎重工業(株)での行政調査

議会活性化特別委員会

区長の皆様 と意見交 換会を開催

平成28年8月24日(水)
会場 八幡地区集会所(上下富田地区9名)

新富町区長会と議会活性化特別委員会との意見交換会を4会場で実施しました。

平成28年8月22日(月)
会場 三納代地区集会所(日置・三納代地区11名)

平成28年10月14日(金)
会場 上新田公民館(上新田地区10名)

意見交換における意見の概要

基地対策に関すること

- ①コンター境界に対する公正な配慮を
- ②町民・自衛隊員の町外流出及び本町に住みたくない理由
- ③告示後防音工事について
- ④航空機騒音に対して本町町民はおとなしい
- ⑤部隊変更により騒音が激しくなった
- ⑥空調機更新に3年は長すぎる
- ⑦町内全域を激甚地区と同じ扱いに
- ⑧NHK受信料を町内無料に
- ⑨クーラーの無い地区集会所にクーラーの設置を

町政全般

①町の借金が増加しない施策を

②副町長人事について

③生活道路・農道への生コン支給に係る確認申請等への助成を

④若い世代は携帯電話を使用し、IP電話を利用しない

⑤新富町にケーブルテレビの導入を

⑥成法寺住宅の現況は

⑦新田原地区は14戸で将来の地区運営に強い危機感がある(地区合併の指摘)

⑧住民がいなくなった

場合の空家対策は

⑨地区の高齢化が進み草刈り作業を町に戻すことを検討

教育に関すること

①学童保育維持に対する早急な対応を

②上新田小学校跡地の有効活用

③上新田中通学路の竹木伐採

④柳瀬地区内通学路の草刈りを町で管理

生涯学習

①総合交流センター「きらり」の運営負担費の検証を



上下富田地区区長との意見交換会(八幡地区集会所)

農政に関すること

①圃場整備に非農用地を設定し有効活用を

②大和池下の湿地を活用して運動広場を

③猿ヶ瀬川樋門にポンプアップ設備の検討を

防災に関すること

①防災タワー整備に風雨対策を

②避難路及び橋梁の耐震診断等対策は

③日置地区に防災設備(15部機庫等)は

④経験から避難訓練の必要性を強く思う

⑤停電時の防災無線の対応は

町おこし政策

①町づくり補助金の一律カットについて

②町が主催するゴルフ大会への負担軽減を

③国道4車線化に伴う集客施策は

まちづくり事業

①道の駅を作ってほしい

②まちづくりに温泉の活用を

③今後負担となる箱物は要らない

④騒音の激しい場所でのイベント(サッカー等)は運営出来るのか

⑤働く場所(企業)が必要

⑥新田原基地・芝桜の活用で金を落としてもらう

⑦基地は上新田にあるのに施設は富田地区に偏っている

⑧上新田のインフラ整備

⑨眺鷲台を活用して

健康・保険

①健康診断に聴覚検査の実施を

②国保税の自治体間格差。町の対策は

議会に関すること

①議員定数・報酬の考え方について(14名でなければならぬ理由)

②議員(議会)活動に対するご指摘

総括

ご指摘いただいた内容は非常に多岐に亘っております。地区を預かる区長の立場として、或いは個人の立場として、地域に根差した課題、町の均衡ある発展を望むもの、過去にも



学童保育の制度変更戸惑い

指摘されてきた課題等多くのご意見を頂きました。議員各位が議会活動、各委員会での発言や議会での一般質問等で町民の声として取り上げ意見を述べさせて頂いております。

今後も議会基本条例の趣旨を活かして、議会報告会・意見交換会等を計画して参ります。町民の皆様のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

カ・メ・ラ・探・訪



古墳祭（百足塚古墳にて）



みかん



そば祭りでの一コマ
（紀伊神社）



白シクラメン

▲花言葉は
「清 純」



子どもフェスティバルで簡単ブチケーキ作り
（新富町総合交流センター）



大道芸人による風船芸
（まつりしんとみ2016）

第7回議会議報告会 のご案内

▼日時

平成29年2月17日
（金曜日）19時開会

▼会場

新富町総合交流センター
「きらり」

町民の皆様には、日頃か
ら議会運営にご理解とご支
援を賜り誠に有難うござい
ます。

さて今回、議会がそれぞ
れの常任委員会、特別委員
会の活動状況について報告
させていただきます。さらに、
住民の皆様のご意見を承る
機会にさせていただきます。

多数のご参加をお待ちし
ています。

編集後記

九州防衛局が示したコン
ター見直し案に激しい怒り
が広がっている。地元新聞
は「騒音に町つぶされる」
「国の強引手法へ怒り」と
報じている。

関係2市3町の首長や議会
はもちろん、基地周辺住民
が一致団結し、国が責任を
果たすまで、力を尽くすこ
とが求められています。

貴行

議会広報特別委員会

委員長 永友 正章
副委員長 高野 賢治
委員 吉田 貴行
阿萬 誠郎
吉田 憲市
大木 俊二

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139